

## 平成27年度 土木部技術職員研修(道路)実施要領

- 1 目的 橋梁等の鉄筋コンクリート構造物の塩害劣化機構と塩害劣化構造物の補修・維持管理技術を学識経験者から学ぶ。また、道路トンネルの維持管理技術も学識経験者から学ぶ。
- 2 対象者 土木部技術職員、市町村職員のうち、道路の維持管理に携わる職員50名程度(各所属1～2名程度)
- 3 日時 平成27年8月28日(金) 13:30～16:30
- 4 場所 富山県教育文化会館1階集会室(富山市舟橋北町7-1 TEL076-441-8635)
- 5 日程

時間	科目	講師
13:00～13:30	(受付)	
13:30～13:35	開会挨拶	(道路課)
13:35～14:55 (80分)	道路橋における塩害の点検・評価と対策	宮里 心一(金沢工業大学教授)
14:55～15:05	(休憩)	
15:05～15:55 (40分)	鋼材腐食による道路橋の安全性能の低下	伊藤 始(富山県立大学准教授)
15:55～16:25 (40分)	道路トンネルの維持管理	森山 守(NEXCO中日本 福井保全・サービスセンター 副所長 兼 土木学会 地下空間研究委員会 維持管理小委員会 副委員長)
16:25～16:30	閉会挨拶	(道路課)

- 6 持参品  
筆記用具

- 7 留意事項

- 1) 会場には駐車場を用意しておりませんので、公共交通機関等にてご来場ください。
- 2) 研修旅費については、各所属にてご負担願います。

- 8 補足

本研修は、金沢大学が中心となって研究を進めるS I P(戦略的イノベーション創造プログラム)「コンクリート橋の早期劣化機構の解明と材料・構造性能評価に基づくトータルマネジメントシステムの開発」のWG1と土木学会地下空間研究委員会維持管理小委員会の支援を受けて、実施します。

また、S I P WG1の支援を受けて、今後10月以降に、“無人航空機を用いた橋梁点検”と“ハンマを用いた打音法による橋梁床版の損傷検知の実地試験”の実施も予定しています。詳細が決まり次第、案内いたします。